

それぞれのリカバリーを目指した うつ病治療を考える ～機能的リカバリーのその先へ～

Trintellix Expert Forum

配信日時

2021年6月8日(火) 18:30～20:00

※本講演会はWEBによるLIVE配信となります。視聴方法につきましては、後日ご案内申し上げます。

プログラム

総合座長

岩田 仲生 先生 (藤田医科大学 精神神経科学講座 教授)

Opening Remarks

講演 I

うつ病のリカバリーを達成するための薬物療法や
精神療法の役割とは

演者

菊地 俊暁 先生 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 専任講師)

講演 II

Functional Recovery and its Barriers in the
Treatment of Depression (仮)

演者

Professor Andrea Fagiolini (Professor of Psychiatry at the University of Siena School of Medicine)

ディスカッション

それぞれのリカバリーを目指したうつ病治療を考える

ディスカッサー

岩田 仲生 先生 (藤田医科大学 精神神経科学講座 教授)

菊地 俊暁 先生 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 専任講師)

Professor Andrea Fagiolini (Professor of Psychiatry at the University of Siena School of Medicine)

Closing Remarks

共催



武田薬品工業株式会社



ルンドベック・ジャパン株式会社

講演Ⅰ うつ病のリカバリーを達成するための薬物療法や精神療法の役割とは

演者 菊地 俊暁 先生 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 専任講師)

うつ病治療において、最近では症状だけでなく機能の改善を目指すことが提唱されている。さらにはQOLや満足度といった主観的な要素も重視されるようになった。機能的もしくは主観的なリカバリーを達成するため、薬物療法の最適化に加え、時に認知トレーニングなどのリハビリテーションや、認知行動療法などの精神療法的アプローチが必要になる。過去の報告でも、通常治療と比較して認知行動療法を実施すると機能障害がより改善し、QOLも増加することが示唆されている。さらに患者自身が重視するパーソナルリカバリーという視点も欠かせず、特に他者との関係性やアイデンティティーなどを援助する姿勢も治療者に求められる。このような多面的なリカバリーを達成するためには、薬剤をどのように用いるべきなのか、また精神療法的アプローチはどのように工夫ができるのか、本講演では考えていきたい。

講演Ⅱ Functional Recovery and its Barriers in the Treatment of Depression (仮)

演者 Professor Andrea Fagiolini (Professor of Psychiatry at the University of Siena School of Medicine)

昨今、うつ病治療は、症状のみならず機能のリカバリーを見据えたものとなってきている。機能のリカバリーを目指す上での重要な課題として、認知機能の低下が患者さんの社会機能やQOLに影響することが示されてきたが、他にも、多くの抗うつ薬で解決してこれなかった課題として、アンヘドニアやエモーショナルブランディングといった状態が近年注目されている。アンヘドニアは、意欲の欠如または意欲の低下を伴い、喜ぶことまたは楽しさを期待することが体感できない、もしくは喜ぶことの能力が欠如している状態で、エモーショナルブランディングは、感情の麻痺または平坦化、感情的な無関心、または感情的な反応が低下している状態と説明される。いずれも患者さんの日常生活において、家族や社会からの離反を招き、社会的孤立が増加する可能性と関連している。本講演では、うつ病治療において機能障害が及ぼす影響と機能回復に至るまでの課題を整理し、機能の回復及び患者の主観的な回復を達成するためのボルチオキセチンの役割について、臨床試験のデータを示しながら考察する。



成人ADHDの治療 について考える会

開催日

2021年6月7日(月) 19:00～20:00

※当日Liveのみのご視聴となります

座長

ランディック日本橋クリニック

院長 **林 寧哲** 先生

演者

医療法人社団ヒプノシス 雷門メンタルクリニック

院長 **伊波 真理雄** 先生

演題

依存性と神経発達症

本講演会はWEBexにて配信いたします。裏面をご参考頂き、視聴申し込みをお願いいたします。
※ご視聴いただく先生の確認のため、当日ログインの際、施設名・氏名の入力をお願いしております。
入力いただきました個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理いたします。
※ご講演スライドの写真撮影、録画はご遠慮ください。

医療関係者※以外の参加はご遠慮いただいております。

※主として医師、歯科医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士等の医療専門家、及び医療施設において医療に従事する職員

<共催>

塩野義製薬株式会社



武田薬品工業株式会社

